

## スペシャルコーナー(季節の話題):毎回、季節の話題を提供します!

～季節の話題～

### 寒い季節・風邪に注意!

寒さで体調を崩しやすく、空気が乾燥している冬、風邪が気になる季節ですね。よく、「猫も風邪をひくの?」と聞かれますが、答えは「イエス!」です。でも人間の風邪と猫の風邪は違う為、お互いにうつることはありませんので安心して下さい。ウイルス性の風邪の場合、3～4日の潜伏期の後に、発熱・食欲不振・口内炎・くしゃみ・鼻水・涙などが多く見られます。さらにそこに細菌が感染するので、膿(うみ)のような目やにや鼻水で目や鼻がふさがってしまいます。鼻がきかなくなったり、お口が痛くなると猫は極端に食べなくなり、体力も急激に低下します。風邪かな?と感じたら早めに来院して下さいね。そして予防のためにもワクチン接種をお忘れなく!

獣医師 横山美也子

### 犬種別のコーナー ～チワワ編～

好奇心旺盛で活発。からだは小さくても大きな犬に対して自己主張するほど自意識が強め。一方、甘えん坊なのに気が弱いのも特徴です。しつけやトレーニングの飲み込みは比較的早いです。感情の起伏が激しく吠えたり噛んだりすることもあるので、しっかりとしつける必要があります。

《かかりやすい病気》

遺伝的、体質などからさまざまな病気がありますが、好発疾患をいくつか紹介します。

- ・水頭症:頭の真ん中には、泉門と呼ばれている指で触ると柔らかく凹む部分があります。通常、泉門は成長に伴い閉じることが多いのですが、チワワでは成犬になっても閉じずに開いたままになっていることが多いです。ただしこれがすべて水頭症というわけではありませんが、脳内(脳質)に脳脊髄液が過剰に貯まり、元気消失、沈うつ、興奮、旋回運動、盲目、痙攣発作などの神経症状を呈します。

- ・膝蓋骨内方脱臼:主に先天的に、または発育上の問題としてみられます。膝蓋骨(膝のお皿)が内側に外れる状態です。重症例では常に外れた状態で脚が変形する場合があります。片脚を上げてけんけんして歩いたり、痛がったりします。

- ・眼科疾患:角膜内皮ジストロフィ(角膜内皮が障害を受け角膜浮腫を生じます。眼の表面が曇った状態になります)、角膜炎(眼に傷が付くことで起こります。眼をこすったり、しょぼしょぼしたりしたら要注意です)、網膜変性症など

- ・その他:気管虚脱、停留精巢、難産、脱毛(ブルー毛色)、低血糖(子犬時)など

獣医師 内藤 政和



### 院長のコラム:「がん」について② 何で「がん」になるの?

なぜ、年をとるとガンになってしまうのでしょうか。

生物の体は、何億何兆という膨大な数の細胞が集まって成り立っています。この細胞の塊である生命体は、古くなった細胞は死んで新しい細胞ができるメカニズムを持っていて、そのお陰で生物はいつもいきいきと活動できるのです。しかしこの素晴らしいメカニズムも、何度も繰り返しているうちに故障してきます。生命体では古い細胞をコピーして新しい細胞を作る役割を担うものを遺伝子と呼びます。つまり、体内の細胞コピー機が古くなり壊れるからなのです。

長生きすれば「がん」になるのです。しかし、人も動物もがんになるくらい長生きできるようになったことは喜ばしいことです。その長生きの代償としてがんと戦っていかなくてはならなくなったのです。

# さくら通信

第3号

平成20年12月発行

発行者

さくら動物病院

新聞編集委員

### お知らせコーナー

12月の休診日:

12/2,9,16,23,28

1/6,13,20,25,27

年末年始休診:

12/30-1/3

救急患者のみ受け

ます(午前9時～12時

午後1時～4時まで電

話対応します)

院長不在日の予定

12/1,10,14,21,24 1/4

※詳しくは院内掲示板で確認下さい。

パピーパーティー

A:12/14, 1/11

B:12/7, 21, 1/18



# 歯のはなし



コイズミ  
ユズマル



歯に歯垢や歯石がたまるとう周病や虫歯の原因となります。

家庭でできる歯のケアは定期的に歯のブラッシングを行なうことです。歯みがきの仕方は人間と同じように歯と歯肉の境い目に45度の角度で歯ブラシを当て、歯と歯肉をやさしくマッサージするように重くかけます。

歯ブラシをイヤがるようなら指にガーゼを巻いてこするだけでも効果があります。毎日のごはんは新鮮なドライフードにかむおもちゃを与えて又の歯が自然にきれいになるようにしましょう。

上手に歯みがきが出来たら、ごほうびとしてガムをあげるのもイですよ。



歯垢

歯肉の後退



## 冬に多い病気、知っていますか？

寒くなってくると散歩の回数も減り、運動不足になりがち。また、水を飲む量も夏に比べ激減します。そうなるに注意したいのが泌尿器系、関節系の病気です。さらに空気が乾燥しているため、呼吸器の病気にも要注意！

そこで今回は、冬に多い病気について予防のポイントをご紹介します。

### 〈泌尿器系〉

※水分補給はしっかりと！水分量がかなり減ってしまうようなら、好きな匂いや風味をつけてあげるといいでしょう。

※寒さのために犬の散歩を控えがちになると、散歩のときにしかトイレをしない子だと、ずっとオシッコを我慢してしまうことに。雪が多く、外に出られない場合などは、家のなかでオシッコができる習慣をつけておけば安心です。

### 〈関節系〉

※関節疾患を防ぐ上で最も大切なことは、太らせないことです。関節や、心臓に負担をかけてしまうためです。

※滑りやすい床や急な運動は避けましょう。滑って転んでしまったり、急な運動は関節を痛めてしまいます。

### 〈呼吸器系〉

※ウイルスや細菌は、閉めきった部屋に充満してしまいます。時々窓を開けて、外のきれいな空気を部屋に取り入れるなど、室内飼いの場合は通気をよくすることが必要です。

※加湿器などを使って、適度に部屋の湿度を保つことは咳などの症状を和らげるのに役立ちます。

※冷たすぎる水を飲むと、咳がひどくなることもあるので、あたたかい部屋に置いておくといいでしょう。

犬は比較的寒さに強いと言われていますが、寒さ対策も忘れずに！

### 獣医師 佐々木 悠

犬は比較的寒さに強いと言われていますが、寒さ対策も忘れずに！

犬は比較的寒さに強いと言われていますが、寒さ対策も忘れずに！

犬は比較的寒さに強いと言われていますが、寒さ対策も忘れずに！

犬は比較的寒さに強いと言われていますが、寒さ対策も忘れずに！

犬は比較的寒さに強いと言われていますが、寒さ対策も忘れずに！

犬は比較的寒さに強いと言われていますが、寒さ対策も忘れずに！

犬は比較的寒さに強いと言われていますが、寒さ対策も忘れずに！

犬は比較的寒さに強いと言われていますが、寒さ対策も忘れずに！

犬は比較的寒さに強いと言われていますが、寒さ対策も忘れずに！

犬は比較的寒さに強いと言われていますが、寒さ対策も忘れずに！

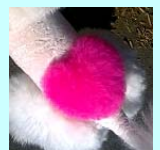
犬は比較的寒さに強いと言われていますが、寒さ対策も忘れずに！

犬は比較的寒さに強いと言われていますが、寒さ対策も忘れずに！

## 前回の約束通り、六花のお尻のハートです。

毎月スタッフがトリミングしてくれます。

僕もトリミングしてもらいたいなあ～



## アビちゃん 体験記 Vol.3



もう10年以上前になりますが、僕は犬の訓練所で暮らしていました。訓練所ではトリミングも行っていて、12月になると駆け込みでトリミングに来る、毛玉だらけの犬で大変だったのを思い出します。訓練所では、家庭犬、警察犬、災害救助犬、アジリティ、ドックショーの訓練をしていました。秋～春にはそれらの競技会が各地で開催されます。僕は競技会の緊張感が大好きでした。(飼い主も競技会が嫌いでした) だから飼い主が訓練所を卒業して、一緒に長野に来てからは性格が明るくなりました。そしてAAA(動物介在活動)という活動を知り、訪問活動に出かけるのが楽しくなりました。今はもう訪問活動はできませんが、毎日10匹の猫たちが僕の家を訪問してくれます。

看護師 小林和恵

### 編集後記

先日、スタッフ全員インフルエンザのワクチンを接種してきました。普段はワクチンを打つ側ですが、いざ自分たちがされるとなると少し抵抗がありました。私たちが行ってききました。私たち人間でさえ注射と分かっていても嫌なモノです。しかし動物達は何も分らない状態で病院に連れて来られていきなりワクチンを打たれる・・・そう考えると診察時に言葉が話せない動物達に対していかに優しく、緊張や不安を少しでも和らげてあげられるかがとても大切な事だと身をもって改めて考え直す事ができました。常に動物の立場に立って考えられる、そんな看護をこれからもしていきたいと思えます。

富田